



公園や都市設計に興味がわき、建築家から地域社会へ貢献する設計者へ、人生の舵を大きく変えた竹翔太郎さん。第一復建(株)に入社して6年、入社当時から、本人が望めば挑戦させてもらえる環境は、自分の成長を大きく促したと語る。そんな竹さんの、今後の目標や課題などを伺った。

●この職業を選んだきっかけ

庭や造園の仕事に興味があったため、敷地全体を考える建築家を目指していました。けれどランドスケープデザインに出会ってから考えが変わります。ランドスケープデザインは、都市空間や街全体を見て設計します。そこに住む人々の暮らしに関われる。就活も建物への興味から、街や道路計画、地域を作る「建設コンサルタント」という土木業界に気持ちが動きました。

とくに第一復建は、総合コンサルですので、社会インフラ整備から、公園、まちづくりも経験できます。希望の仕事に就くことができたので、早く一人前になって会社に貢献したいと思います。

●職場の魅力や責務

一番の魅力は自分が携わった仕事で、実際に出来ること。社会インフラはもとより、公園や都市計画など、設計図が現実化される喜びは格別です。道路や橋などが完成すれば、利用者の喜ぶ声を知ることができます。けれど、公園は、子供や大人が利用してくれる限り、笑顔がずっと絶えません。そのような仕事は、土木の中でも少ない。利用者の笑い声や楽しんでる姿を見ると、やりがいや達成感でいっぱいになります。だからこそ安全・安心な施設を念頭に取り組んでいきたい。

●仕事のこだわり、ポリシー

入社した当初は、建築家を目指していた名残もあり、「カッコイイ公園」を意識していました。自分が使いやすい、魅力的だと思ふ施設を重要視していたのかもしれない。公園を一番利用する子供と親目線を、置き去りにしてしまいました。けれど、今は違います。当たり前ですが、使いやすいや安全性、休憩所配置、遊具がなくとも創意工夫の仕上げ方など、年齢や性別も関係なく楽しめる、笑顔溢れる場作りを意識

担い手シリーズ 21

# 自分が設計した公園で 自分の子供が遊ぶ 考えるだけで楽しくなる

竹 翔太郎 入社6年目(地域整備部 サブリーダー)  
第一復建株式会社



▲DF(第一復建)フォトコンテスト最優秀賞作品:公園を散策する我が家族

●仕事上で印象的なエピソード

入社して3年目の仕事です。先輩とチームで動いていましたが、しばらくして全て引継ぐようになりました。公園緑地設計以外の仕事も経験し、全体の流れも把握していたので、「ひとりでする」と考え違いをしていました。

ところが、いざ打合せに入ると、発注者の質問に即答できず、求められる答えも導き出せませんでした。自信があっただけに、当時は落ち込みました。けれど、振り返りはいつでもできる。まずは、問題や課題を解決するべく、設計に向き合っていました。自分の未熟さを早い段階で知ることができたのは、大きな収穫です。今でも準備の仕方、利用者目線の重要さなど教訓にしています。

●今後の目標

目標は、自分の名前で受注ができる技術者です。プロジェクトが決まった時に、すぐに頭に浮かぶ存在でありたい。そのためにも、技術士の資格は取得しなければと思います。

目標ではありませんが、生まれ育った土地で、公園設計に携わるのが夢です。遊具の少ない、シンプルな設計。子供に「お父さんの設計」と自慢しながら伝えたい。家族で遊ぶ姿を想像するだけで、ワクワクします。



竹 翔太郎(たけ しょうたろう)  
福岡県出身。福岡大学工学部建築学科卒業。平成26年4月第一復建(株)入社

会社概要  
第一復建(株)  
〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-17-9  
TEL. 092-412-2230 FAX. 092-412-2240

<http://www.dfk.co.jp/>